

「じんけん」ぽん

〈2007年 10月 第42号〉

住所：〒277-0005 柏市柏5-2-17 電話 04-7165-8707 FAX 04-7165-8709

ホームページ <http://homepage2.nifty.com/ai-net/> メールアドレス bch13362@nifty.com



特集 成年後見制度を考える「誰に何を託すのか？」
(流山市手をつなぐ親の会 勉強会にて)

地域を歩く ホームメイトFC柏店（柏市）

※ 9月15日認知症メモリアルフェスタ（けやきプラザにて）



成年後見制度を考えるポイント

流山市手をつなぐ親の会 勉強会にて



講師は中核地域生活支援センター「がじゅまる」所長の朝比奈ミカさん。この勉強会はこれからは開く予定で、その第一弾でした。「成年後見制度のことも考えなきゃと、頭では思いつつ、つい後回しになって…」というのが皆さん共通した思いのようです。契約のために、親亡き後などに必要と思っている制度ですが、成年後見制度がすべて解決してくれるわけではないこと、


○あなたのお子さんはどんな人ですか？（自己決定の「源」）

- ・のんびり？せっかち？マイペース？
- ・無謀派？慎重派？
- ・にぎやか・わいわい派？孤独とお友達派？
- ・好きなことは？苦手なことは？
- ・気分の良し悪しは、どうやって分かりますか？

そういった様子は生活の中でのじみ出てくるものであり、「その人らしさ」は言葉のあるなしに関係なく、生活の中でなんとなくにじみ出てくるもの。それが自己決定の「源」

今から考えておきたいこと。という内容にみなさんちょっと目からウロコだったのででは？

この（左図下段）①②は親が、ほとんど代わりにやっていること。もし親に何かあったらと思いつつながら、家族内でも相談していないことが多い。つまり、家族は「つもり」とか「～はず」で成り立っている。＝いざとなれば、お兄ちゃんが見てくれるはず…。「つもり」が積もればギリギリの場面で「つもり」が成り立たないことが分かったり。普段から、家族で「つもり」を口にしよう。こう考えてみたら、自分（親）が急に3ヶ月入院をしなければならないとしたら。何が必要？誰が頼める？①子どもに関わる人（機関）は家族を含め、今そして過去にどんな人がいるの？②子どもは1日（二十四時間）の中で自分ができることは何（なに）で、どんな手助けが必要？（次頁につづく）

○「自分で決める」2つの柱 

① 財産管理

毎日の支出、家計のやりくり・お金を貯める、貯めて使う・親の遺産を守る・活用する。

② 身上監護

- ・身体の調子が悪くて、医者の治療を受けたい。（治療、服薬、手術…）
- ・親元を出て一人暮らしがしたい。
- ・年に一度は海外旅行がしたい。
- ・今の施設の作業が嫌なので通所先を変えたい。等

親が「うちの子はこれができる」と思っている行為は、例えば「声かけすれば」とか「準備すれば」できることだったり。そんなことを書き出してみる。

こんな作業で、いざというときに誰に何を頼めそうか見えてきて、少し安心？大いに不安？（そして、誰に何を託すのかの複数の人の中に、後見人という役割も登場してくることになる）

その複数の人（チーム）で本人の「自己決定」を支え、地域で生活を継続していくこと。

言葉で表現の出来ない人の自己決定をどう考えるかは、そう簡単ではない。けれど、本人の最善の利益とは何か、本人を感じながら、みんなでわいわい言い合っていくしかない。そこが大切。（成年後見制度を考える前にという形でまとめました）



（社）千葉県社会福祉士会

第4回柏・我孫子・流山・野田地域集会在開催されました。

去る九月十五日（土）プラザハイアン柏ロイヤルホールにて、第一部「あなたのネットワークの原材料は受け渡し準備万端です！」第二部「福祉職人達の文化祭」（約一五〇名参加）が行われました。

第一部では、全く顔見知りでない人達が、ジェスチャーゲームやインタビュー形式の自己紹介を通じ、言葉のないコミュニケーションや、普段業務として行っているアセスメントの仕方について、本当にこれでいいのかと遊びの中から振り返りを行いました。

顔と顔がつながって

はじめて顔を合わせる方（大先輩も含めて）の中で、お話しをするのはとても緊張してしまう場面です。この会を通じて、「みんな、緊張するんだ」と共有できたこと。私は相談者の方に失礼なことを言ってしまっ、反省の日々を送っていたので、こういった会に参加したことで、仲間がいることの大切さを感じました。

第二部では、さながら同窓会のような雰囲気、新しい出会いもあったようです。

実行委員とは名ばかりで失礼しました。



認知症メモリアルフェスタ

9月15日 けやきプラザ(我孫子)にて開催

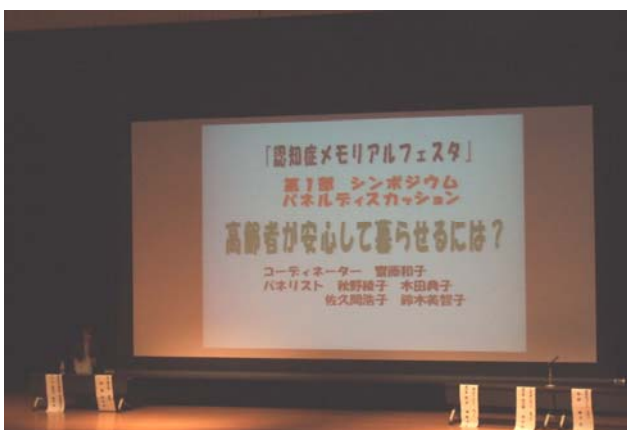


世界アルツハイマーデー記念として、千葉県福祉ふれあいプラザで開催されました。

当日は、シンポジウム、メモリーウォーク（けやきプラザから手賀沼公園）、ミュージカルという内容でした。シンポジウムでは、「認知症になっても安心して暮らせるまちへ」というテーマで長谷川和夫先生に話していただきました。認知症か否かのポイントとしては、

一、記憶の低下（忘れっぽくなる等）二、認知障害（言葉のやりとりが困難等）三、生活の支障（今までの暮らしが困難等）予防としては、読み書きをしたり、その時どう思ったなどの気持ちを入れながら日記をつける等がよいとのことでした。

また東京の杉並区では地域住民で、地域資源マップ（モデル事業）として作成したり、地域で知的障害者、精神障害者のマップづくり等もあればと安心した生活の基盤が整っていくとのことでした。



あいネットへの相談の中で「住まい探し」のお手伝いというものがあります。家賃のことや環境（駅から徒歩何分、広さは、築何年？）のことも含めて、ほんの少し訳ありなこと（保証人、生活保護等）を除いて、ふつうのお部屋探しの同行です。

そんな時、相談者の方、私たちと一緒に頭を抱えてくれるのが、不動産屋さん。何度キャンセルをしても、一緒に足を運び、物件の見学をさせてくれる。それが仕事だと言ってしまうまでもありますが、親身になって付き合ってくれる不動産屋さん感謝しています。今月号では、私たちの支援に協力をしてくださる不動産屋さんの中の一つで、柏市教育福祉会館のそば「ホームメイトFC柏店」さんを、ご紹介します。

ホームメイトFC柏店



住所：柏市柏5-8-16ウエルズ 21 柏パート1-B-1F
 でんわ：04(7106)6500 FAX：04(7167)8270

■営業時間：11:00～18:00 定休日：水、日曜・祝日
<http://members3.jcom.home.ne.jp/hp.housing-shop/>

「現在、県外から二時間かけて、通院中。そろそろ一人暮らしをして、就職に備えたい。



取締役 木村史子さん

先生のご許可も出ていますし、こちらで部屋を探したい。」病院の協力を得ながら、お部屋探しを開始。本人は「断ること」に対して非常に臆病。

ホームメイトの木村さんから「大丈夫よ。一緒に探しましょう。何度でも見学は出来るし、見たからってすぐに契約をしなくてもいいから。この前なんて8箇所見て、やっと決まった人もいるから（笑）」明るい笑顔で言われると本人も安心した様子でした。

九月八日に行われた「第四回自閉症・軽度発達障害者の療育支援員養成講座」にて講師としてお話しをされている木村さんの思いは「人でつまずいている方がたくさんいる。お話しをさせてもらって、つないでいけたら。」とのこと。

これからもよろしくお願いします。



Eye ネット

平成19年9月30日（日曜日）毎日新聞（千葉西北）朝刊で「さようなら」という記事を見つけました。03年4月記者生活を千葉県で始められ、人事異動で新任地を後にされる記者の方。新人時代の取材相手の方に、「いつもあなたの名前を探して（中略）…『よしよし、がんばっているな』って見ているのよ。」と。



（↑）「2階の事務所が、来年の4月から空きます。」とのこと。詳しくは、直接、ホームメイトFC柏店（木村さん）まで。

地域の温かい目で見守られることに感謝されていた内容。

…以前、あいネットにも取材にこられた中川紗矢子さんの記事でした。お疲れ様でした。

